



もうすぐ1年生

新入学児童のいる家庭では、4月の入学をひかえ何かと心づかいをしていることでしょう。かといって親の方が真剣になりすぎるのもかえって子供によくありません。自分のことは自分でやるように指導し、見守ってやるのも大切です。そこで入学前のしつけや心がまえについてまとめてみました。

伸び伸びした性格に

「ハイ」「イエ」がはっきり

新入学児童のいるご家庭では、それぞれお子さんに、入学前のしつけや心がまえを指導しているでしょうが、子どもは学校の生活を知らないだけに不安をもっていることは確かです。

よく、「そんなことをすると学校に行けませんよ」「行儀が悪いと先生にしかられますよ」とおどしたりするお母さんがいますが、かえって心の重荷を増すだ

けです。

怒つてばかりいると子どもはいじめてしまいますから、伸び伸びとした子どもに育ててください。

入学までに、できるようにしておきたいことや直したいことがあります。できなくても、直らなくても、じっくり訓練してください。

・赤ちゃんことばから、子どもことばに

変えることです。たとえば「ハイ」「イエ」が、はっきりいえるようにすることです。

- ・学校では各自の名前を姓で呼びますから、自分の姓になれさせてください。ついでに住所や両親の名前もはっきりいえるようにしましょう。

自分のことは自分で

自分のことは自分でする習慣をつける必要があります。

日ごろから家庭の中で、子どもにできることはきちんとさせておかないと、学校で困ることが多くあります。自立心のあるこどもは、依頼心の強いこどもと比べて、学校生活も楽しく自信を持って送ることができます。

朝きげんよく起きる。自分でねまきを着、たたむ。服を着る。歯をみがいて顔を洗う。こういうとき、つきつきりでお母さんがやかましくいつてもだめです。子どもが納得し、自分から何んでも進んでやるようになるまで、目ざわりなことがあつても急がず気ながに習慣づけましょう。



病気の治療は入学前に 健康なからだで新学期を

1年生の生活の中で大事なことは、友だちと仲よく遊ぶことです。たとえ1から100まで勘定ができたから、いろはが全部読めたからといつて、だれとも遊ばずにしよんぼりしては、かえつて勉強の妨げになることさえ起こりかねません。それよりも、1年生になる子どもたちといつしよに遊ぶ機会を持つよう心がけてやることと、健康なからだにきたえることです。

子どもは、友だちとの遊びや学校生活から「自己の主張」「他人の主張の受入れ」という、教科書からはなかなか学べない「子ども社会のルール」を自然に体得していくものです。それが人間形成のうえでもつとも大切なことではないでしょうか……。

なお、ふだん病気らしい病気もせず、元気に遊んでいる子どもさんの中にも、

目に見えない耳や鼻の病気にかかっている場合もあります。特に、最近ではテレビの影響や食生活の影響で目と歯の悪いこ

どもが多くなっています。からだに欠陥があつては、せつかくの楽しい生活もできなくなります。それが「学校嫌い」「勉強嫌い」にもつながります。こどもが大きくなつてから「この子は学校が嫌いでこまる」といつても手遅れです。

就学前の健康診断で注意された子どもさんもいると思いますが、病気は入学前になるべく治療をすますように心がけてください。



【入学準備の話を熱心に聞くお母さん】

お子さんのいるご家庭で、一番心配になるのは交通事故かと思えます。とくに小さなお子さんは、こわいもの知らずですから、道路や踏切に平気で飛び出してしまう。こんなとき、自動車や列車が来れば——けがをするばかりか尊い生命まで失なうことになってしまいます。

かわいいお子さんが交通事故でけがをしたり、生命を失なつたりすることは何としても防がなければなりません。とくに、4月は毎年新入学児童の交通事故が多くなりますから、家族はもとより、運転者全員が注意しなければなりません。これまで、どこに行くにも家族と出かけていたのが、小学校に通学するようになると、ひとりで出かける機会も多くなり自然に親の目も届かなくなつてしまいます。

それでは、子どもを交通事故から守るにはどうすればよいか、もう一度考えてみましょう。

まず、正しい交通ルールを身につけさせることです。それには、入学前に

あらかじめ、子どもさんとお父さんやお母さんが、通学路などを一緒に歩いてみる事です。信号のないところや横断歩道のないところはとくに注意して、くりかえし、くりかえし、習慣化するまで教えることです。また、子どもは大人のまねをしますから、買い物などに出かけたときなども正しい交通ルールを親が守ることも大切です。



正しい交通ルールは
家族がまもり本を